



おめでとうございます (敬称略)

危険業務従事者叙勲
【瑞宝単光章】 ▶防衛功労 小林好一 (大和田新田)
 ▶警察功労 松本健二 (大和田)



産業と市民の祭典「八千代どーんと祭」が10月17日・18日、総合運動公園多目的広場で行われました。市内の商工業、農業関係者の模擬店や展示会、市民団体のステージ発表などが行われ、多くの来場者で賑わいました。



市と八千代警察署、株式会社ジェイコム千葉八千代局が「八千代市安全で安心なまちづくりに関する協定」を締結し、10月8日に調印式を行いました。これにより、「電話 de 詐欺」の発生状況や不審電話の情報提供を受けた同局が、番組を通じて市民に注意を呼びかけます。また、同局が営業活動を行う際に防犯の啓発チラシを配布するなどして、安全・安心なまちづくりのために3者で協力を図ります。

「いのちを守る防災CAMP」が開催されました

10月12日、公益社団法人危機管理協会とフジテレビが主催する「いのちを守る防災CAMP」がイオンモール八千代緑が丘で開催されました。防災グッズやパネル展示のほか、非常食を定期的に飲食し、使用した分を補充する「ローリングストック法」や非常時持ち出し袋を準備する際のポイントなどを紹介しました。ステージでは、防災ナビゲーターのガチャピン・ムックや、朝の情報番組でおなじみの気象予報士・天達武史さんなどが登場し、防災の知識を分かりやすく解説。やっちゃん、チーバくんも駆け付け、訪れた買い物客と一緒に防災について学びました。



▲非常時持ち出し袋に何を準備すればよいかを实践。「欲張って入れすぎると重くなって持ち出せなくなっちゃいますよー」とムック

主催者でもある危機管理協会専務理事の高貝正芳さんは、「災害がないときに考えて何が必要か書き出し

てみるのが大切」とアドバイス。帰宅できないときにはどこに避難するかなどを家族や身近な人と話しておくことも必要だと話しました。

「トリック・オア・トリート」商店街に響く元気な声

「にじ 八千代台西口プロジェクト」が主催する「ハロウィンだよ全員集合！」が10月31日、八千代台西口商店街で行われました。同プロジェクトは、自分たちの住む八千代台を元気にしたいという思いから、昨年結成された非営利任意団体。平均年齢40歳10人のメンバーが、これまでも「ムーンフェスタ」や「餃子大会」を実施し、八千代台西口の活性化に力を注いでいます。

今回のハロウィンイベントには、とんがり帽の魔法使いやお姫様などに仮装した子どもたち100人が参加。協力してくれた北本通りや西本通りなどの20店舗の店先で元気よく「トリック・オア・トリート(お菓子をくれないといたずらするぞ)」と声を掛けると、店主などが笑顔で用意していたお菓子を手渡しました。



▲袋の中はお菓子がいっぱい。お店の人との会話も弾みます



リサイクル・ガイド

消費生活センター 電話485-0559

●この欄のお問い合わせは、消費生活センターへ。受け付けは、土曜・日曜日、祝日を除く午前8時30分～午後5時まで(午後4時～5時は電話483-1151へ)。交渉は当事者で行い、結果は必ず同センターに報告してください。

【あげます】▶介護パンツ(リリーフ)/M30枚入り
 ▶ベビー用ゲート2台/横幅69～90cm対応 ▶会津塗りのお盆/31cm×51cm×4cm ▶ホットカーペット/

2畳 ▶城に関する書籍(段ボール2箱分) ▶テスコム布団乾燥機 ▶テニスラケット2本(男子用、プリンス製・ヨネックス製) ▶インバーター電気スタンド(三菱製) ▶冬物アクリル毛布(西川製)/2枚 ▶無線ルーター/300Mbps ▶バーベキューグリル【ゆずります・有料】▶ガステーブル(リンナイ製、2口、1年使用)/50cm×46cm ▶ストーブガード ▶ベビーベッド ▶大人用書道セット(硯・筆・ケース・墨汁・高級習字用紙) ▶足付き将棋盤 ▶座卓(漆塗り)/60cm×90cm ▶村上東小体操着/150cm ▶女子用スキーウェア/90cm【ゆずって・有料】▶餅付き道具一式 ▶柏井高校女子制服(赤チェックスカート)/ウエスト66～69cm

八千代歌壇

佐波 洋子選

マイナンバー総合フリーダイヤル
電話0120(95)0178(無料)
 通知カード、個人番号カードに関することなど。
 平日午前9時30分～午後10時。土曜・日曜日・祝日
 午前9時30分～午後5時30分(12月29日(火)～28年1月
 3日(日)を除く)

難病といともさらりと告知されなす術のなし天命と知る
 (八千代台西) 千徳美恵子

風たえて真夏の庭に一輪のモミジアオイの赤い花咲く
 (八千代台北) 若菜 欽子

鐘楼に登りて雀の卵盗りし腕白坊主いずこに老いん
 (八千代台南) 桑原 慎子

湯浴みして庭に降り立つ夕間暮れ秋の初風そよ立ち来る
 (大和田新田) 諏訪 俊一

花ひとつひとつとつを巡りいる金色の蜂音なき真昼
 (八千代台西) 百瀬水枝子

如己堂の二畳一間に胸ちぢむ長崎の鐘鳴りわたる八月
 (八千代台北) 水野太佳代

ただ茶豆植え想い馳す月見月君はべらせて盃あぐる函を
 (萱田町) 吉田 仁子

すれ違いにあいさつかわせど思ひ出せずあの人誰と立止ま
 (上高野) 上岡あや子

選評 一首目、最近病名を告知するのが普通になってい
 るようだが、作者は天命と自分に言い聞かす事で告知
 を受け止めている。きっぱりとした言い方に痛切さがある。二
 首目、無風の夏庭は暑く、そこに咲く一輪の赤いモミジアオイ
 は生命力を振り絞って咲いているようでもある。簡潔な叙景歌
 の良さが出ている。三首目、幼友達のあの腕白少年はどんな老
 人になったろうか。単なる懐かしさだけでなく、自分の年齢と
 重ねた人生的な感慨がある。

やちよ川柳

八千代川柳連盟選

戦後なら祭りのような日々の膳 大和田新田 加茂 英代
 皺増えて柔和になった妻がいる 勝田 植田 絵里
 勇気持ち小さな声を束にする 村上 藤原 敏弘
 言い置いて冗談だとは卑怯なり 大和田 関川由美胡
 定年後妻の元気に乗せられる 大和田 塔ヶ崎咲智子
 胎教へモーツァルトを積み上げる 八千代台北 中川記代子
 切れ味は魔法の如しテレシヨップ 勝田台北 川井よし雪
 看病の巻き添え食らう共倒れ 萱田 鈴木みち子